

新型インフルエンザ ワクチン接種費用助成します

新型インフルエンザワクチンは、感染しても重症化や死亡の防止に一定の効果が期待されるものです。感染を完全に防ぐものではありませんので、優先度の高い方は、かかりつけ医とよく相談し接種して下さい。ワクチン予防接種計画は、今後もワクチンの生産状況に応じて変更される場合があります。

◆助成の対象となる方（北秋田市民）

- ①市民税非課税世帯、生活保護世帯の方
※該当と思われる方は、相談窓口にご連絡ください。
接種には証明書が必要です。（無料発行）
- ②北秋田市国民健康保険に加入の方
- ③1歳から中学校3年生・妊婦

【注意】

※条件が重複して該当の方は①の順から優先となり、それぞれからの助成は受けられません。
※助成対象の方で既に接種済の方は、接種済票・予診票の写しを医療機関よりもらい、領収書を添えて健康推進課(保健センター)までお越しください。

◆助成額

- ①に該当する方 **全額助成**
- ②・③に該当する方 **1回につき1500円**

◆接種手順

- ①優先度を参考にして、かかりつけ医に相談し予約して接種してください。
- ②1歳未満児の保護者・市民税非課税世帯該当の方は、接種日予約後、相談窓口ご連絡を下さい。証明書が必要となり、確認後、証明書受け取り等のご案内をします。（証明書は無料発行）
- ③助成対象の方は、助成金額を差し引いた自己負担分をお支払いください。

◆ワクチン接種優先者と接種時期の計画



◎新型インフルエンザ相談窓口

北秋田市健康推進課（北秋田市保健センター）
a 62-6666（受付時間：9時～17時15分）
小児救急電話相談 相談日時 毎日 19時30分～22時30分
#8000

12月夜間当番医日程表（診療時間18:30～21:00）

日	曜	医療機関名	電話番号	日	曜	医療機関名	電話番号
1	火	盛岡 外科 医院	62-1101	17	木	盛岡 外科 医院	62-1101
2	水	佐々木産婦人科 医院	63-0105	18	金	遠藤 クリニック	63-0515
3	木	近藤 医 院	62-1155	19	土	近藤 医 院	62-1155
4	金	疋田外科内科 医院	78-3338	20	日	津谷 内 科	62-2261
5	土	遠藤 クリニック	63-0515	21	月	国民健康保険合川診療所	78-3161
6	日	たむら内科クリニック	63-2700	22	火	北秋中央病院	62-1455
7	月	津谷 内 科	62-2261	23	水	うえだクリニック	60-1055
8	火	毛利整形外科クリニック	69-5300	24	木	たむら内科クリニック	63-2700
9	水	石川耳鼻咽喉科 医院	62-1400	25	金	公立米内沢総合病院	72-4501
10	木	うえだクリニック	60-1055	26	土	石川耳鼻咽喉科 医院	62-1400
11	金	北秋中央病院	62-1455	27	日	藤原 医 院	62-2882
12	土	藤原 医 院	62-2882	28	月	児玉内科クリニック	69-7311
13	日	奈良 医 院	62-1146	29	火	奈良 医 院	62-1146
14	月	阿仁診療所	82-2351	30	水	疋田外科内科 医院	78-3338
15	火	児玉内科クリニック	69-7311	31	木	北秋中央病院	62-1455
16	水	佐々木産婦人科 医院	63-0105				

▼通常の診療時間外に診療を行う当番医制度です。診療を受けられる方は、事前に電話でご相談ください。
▼診療の対象となるのは**応急の診察を要する方**です。仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に応じかねます。
▼往診はしていません。**年齢・病気の病状にかかわらず事前に当番医へ電話等でご相談ください。**

火災予防体制の充実を図る



▲本番さながらの訓練が行われた秋の火災予防運動に伴う訓練

●秋の火災予防運動に伴う訓練

秋の火災予防運動に伴う訓練が11月1日、市内各地区4か所で行われ、消防団員たちが有事に備え、本番さながらの動きで訓練に臨みました。
訓練は、阿仁地区が阿仁農村環境改善センター、合川地区は松ヶ丘多目的グラウンド、森吉地区が五味堀ふれあいセンター、鷹巣地区が北健康増進センター（糠沢）の市内4か所で行われました。
鷹巣地区の訓練には、消防団5分団約50人及び消防本部職員が参加。火災現場から約300メートル先の消火栓よりホースをつなぎ合わせて放水する「長距離中継放水訓練」を行いました。サイレンが響きわたると、団員らは、きびきびとした動きで、次々とホースを結合延長し、火災現場に放水しました。

ふるさと談議で親睦を深める



▲菊地会長、津谷市長らの鏡割りで盛会に懇親会がスタート

●第22回東京鷹巣会総会

第22回東京鷹巣会(菊地靖孝会長)総会が10月25日、東京都内のホテルで開かれ、ふるさと談議に花を咲かせながら旧交を温めました。
総会で菊地会長は、「会員のコミュニケーションの場として会の維持発展・創造拡大させる努力を続けたい。郷里に何か貢献したいと、『ふるさと産業促進部』を立ち上げたが、まだ軌道に乗っていないため具体的な活動ができるよう進めていきたい」と、今後の活動について決意を述べました。
この後、菊地会長、津谷市長らが鏡割りを行い懇親会がスタート。お互いの近況やふるさととの話題で話がはずみ親睦を深めました。また、「きりたんぼ」も振舞われ、郷土の味に舌鼓を打ちました。

6千年前の暮らしに、思いを馳せる

●森吉山ダム湖底に沈む遺跡探訪バスツアー



▲森吉山ダムの湖底に沈む二重鳥B遺跡で説明を受ける参加者たち

森吉山ダム湖底に沈む遺跡探訪バスツアーが10月24日、同所で行われ約60名が参加し、6000年前の縄文人の住居などと見学し、太古の暮らしを想像し歴史ロマンに思いを馳せました。
この日は、四季美術館と内陸線阿仁前田駅からバスで現地入り。はじめに森吉山ダム広報館で、市の担当者より、森吉山ダムと小又川流域の縄文遺跡群の発掘調査概要と見学する「二重鳥B遺跡」の詳細が説明されました。
このあと、二重鳥B遺跡にバスで移動。参加者らは、大黒柱跡が配置されている竪穴住居跡や食べ物などを貯蔵したとされるフラスコ状土坑など見学して、大昔の暮らしを想像し歴史のロマンを掻き立てていました。